



# 南中だより



校長 碓井 浩枝 令和8年4月21日号

桜が満開の中、新年度がスタートしました。昨年度末に環境整備で PTA の皆さんが植えてくださった色とりどりの花も生徒達を迎えてくれていました。校庭の桜はいつしか葉桜となり、目にまぶしい新緑の季節がやってきました。心と耳を澄ますと、ウグイスの鳴き声が聞こえてくるようになりました。最初は少しぎこちなかったその声も、日を追うごとに美しく力強い響きになっています。

新しい学年がスタートして 2 週間が経ちますが、戸惑いながら始まった生徒達の新生活も、今では自分なりのリズムをつかみ、教室には活気ある声が響いています。日々の小さな努力が美しい音色となるよう、職員一同、生徒達の挑戦を後押ししてまいります。

## 着任式・始業式

4月6日(月)南中学校に新たに着任した6名の教員の着任式と令和8年度1学期の始業式を体育館で行いました。1つ学年が進んだ新2年生、新3年生は、立派な態度で式に臨んでいました。

### <学校長あいさつより>

人間の脳には経験や意識次第で変化する「可塑性」があり、誰でも今日から「なりたい自分」へ再設定が可能です。過去の失敗に捉われず、新しい自分へのアップデートを積み重ね、1年後に自分の成長に胸を張れるよう、今日という日をリセットボタンとして踏み出しましょう。「笑う門には福来たる」です。新しい環境で不安なときこそ、自分から笑顔で挨拶をしてみましょう。その小さな一歩が、自分を変え、クラスを変え、学校全体を明るい場所に変えていきます。皆さんの新しい挑戦を全力で応援しています。

2年生へ・・・今年度は、学校の中核になります。1年生という準備期間を終え、自分らしさを出す時期です。挨拶や行事への主体的な参加など、小さな「新しい自分」へのアップデートを積み重ねていってほしいです。

3年生へ・・・いよいよ最高学年。「進路」という大きな冒険に立ち向かう時期です。単なる受験勉強というのではなく、自分の未来をデザインする時間として捉えてほしいです。壁にぶつかっても逃げずに自分と向き合うことで、一生の財産となる「しなやかな強さ」を育ててほしいです。



## 第41回入学式



4月6日(月)桜が満開の中、158名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。担任から名前を呼ばれ、しっかりと返事をした声に、また、真剣に式に臨む姿に『これから南中学校の生徒として頑張ろう!』という意気込みを感じ、頼もしく思いました。

### <学校長お祝いの言葉より>

新入生へは、自ら考え判断する「知力」、仲間と協力する「対人力」、困難に立ち向かう「精神力」をバランス良く組み合わせた総合的な力である「生きる力」を備えた『人間力あふれる人』になってほしい。一人ひとりが、大輪の輝く笑顔のようなひまわりであってほしい。ひまわりを空に向かって大きく美しく咲かせるために『素直さ』『しなやかな強さ』を大切にしてほしいということをお話しました。また、保護者の方へは、桜が開花するためには『冬の寒さ』も欠かせないのと同じように、子どもたちの成長においても何かを成し遂げようとするためには、時には試練に耐え、それを乗り越えたときに大きく成長できる。子どもたちの成長を保護者の方と一緒に喜び合える3年間にしたいと思うということをお話しました。

\*\*\* 日々の生徒達の活動の様子等をHPに載せています \*\*\*

<https://minami-j.zama.school>

